

奥列驛路圖

二

二九一	和書門
二九一	類
二七	函號
一〇	架
九	冊

二九一	和書
二九一	類
五	冊
二〇	架
二七	函



地
五
四

内閣文庫	
番號	和 29151
冊數	5 (2)
函號	176 241



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



102

陸奥州驛路圖卷之二

陸奥州

同



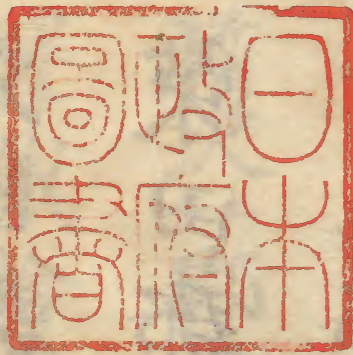
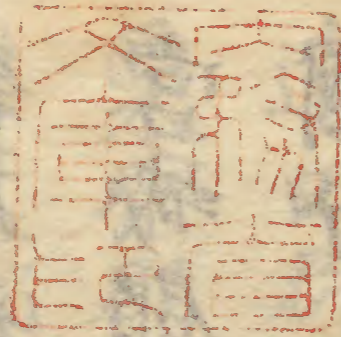
附一四五六號

日本國東山道陸奥州
後苑田郡
至下膳澤郡
驛路圖二

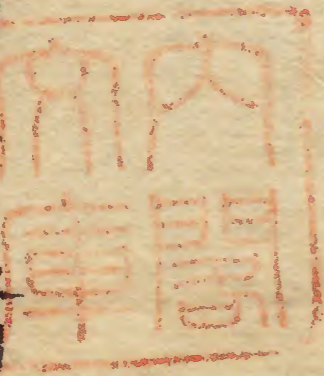
具初卷六坊



陸奥州驛路圖卷第二



勢洲神都 秦檜丸圖



奥州仙臺 大場雄洲參禰

菊田郡

和名鈔刈田
葛田

柴田郡

同之波太

名取郡

同奈止里

宮城郡

同美也木

國分

今州民分宮城
郡西北郡村種國
分郡

黒河郡

同久呂加皮

志田郡

同志太

遠田郡

同止保太

栗原郡

同久利波良

般石井_上郡

同仲波井

瞻沢_上郡

同伊佐波

驛戴拾九

行程四拾八里余

壹里五寸比
法の中子圖禹
をかせり



越王堂 一曰光堂

平村
馬子沼
鬼塚

越王堂 甲曹 拵る 男女の
右像 二軀 有り 里俗 云 傳 せ
田村 將軍 此所 の 鬼 といふ
一 後 鎮 護 の も 自 像 と
母 置 と 一 曰 加 茂 次 郎
義 綱 新 羅 三 帝 義 光 東 夷
恐 る 事 紀 事 亦 佐 藤
次 信 忠 伝 事 此 像 と 云 け 堂
白 越 河 堂 と 云 け 何 以 たり
越 王 堂 と 唱 へ 古 老 あり
千 騎 塔 此 辺 塔 あり 在
東 鑑 曰 文 治 年 間
西 木 戸 太 師 國 衡
の 備 へ 不 知 人



伊達郡
新田郡
男大仏

仙臺家直所

越河驛 至 液 丹 河 驛
一 里 十 三 四 間
戸 七 十
土 産 苧 蘭

越河驛 八里余



白石驛 十一丁
 至大宮 一里九丁
 至大宮 一里九丁
 戸千
 土産紙 上高
 紙市 上高
 葛粉
 市日二七

元町
 中町
 長町
 渡町
 短町
 新町

新館山

白石城、古くは白石氏代、
 伯方中慶、長年間上校、
 家屬城、其糟備後、
 守佐護、伊達、
 貞山、攻落、其時、
 片倉氏守護、



齊河驛 三丁
 至白石 一里
 十間 十五丁 四十間
 戸四十五
 土産 孫太郎虫繭 松茸

鬼道



柴田館と云ふ舟屋
 四保館此城東鑑
 芦田次郎住
 今柴田氏位凡

古城址



大河原驛九丁 至船迫驛 一里十二丁
 戸二百余
 土産紅花餅 音錠
 市日三八
 和名鈔目
 新羅御



金瀬驛十丁
 戸百廿九
 土産紅花餅
 音錠川芎

至天河原驛
 三十丁

柴田郡坂

長尾神社

小豆坂

長尾神社

國衡墓

大高山神社

寛龜寺

東鑑九曰文治五年八月十日
 和田小太郎義盛馳鞍于
 先陳及昏黑到于芝田郡大
 高宮迎西木戸太郎國衡者
 經出羽道欲越大関山

大高宮縁起元禄十年
 四月東大寺前大僧正
 道恕深毫平とあり其
 中曰陸奥國の中彼
 高見野より同とをき
 山林小神冥城なりと

東鑑九日河村千鶴丸
 早切ふくろて船迫駅
 仁ろを俄に加首服を
 夕小河村四席赤清と
 号せり加冠八加美次第
 長清也



東鑑九曰海道
 大將軍千葉以
 常胤下畧
 相具下常胤
 知家渡逢隈漆
 参上

至増田駅
 岩沼驛九丁
 一里廿九丁
 六間

戸二百五十余
 土産蔭籩笠
 莖青錠紅花餅
 徳内膏藥
 市日六ノ日



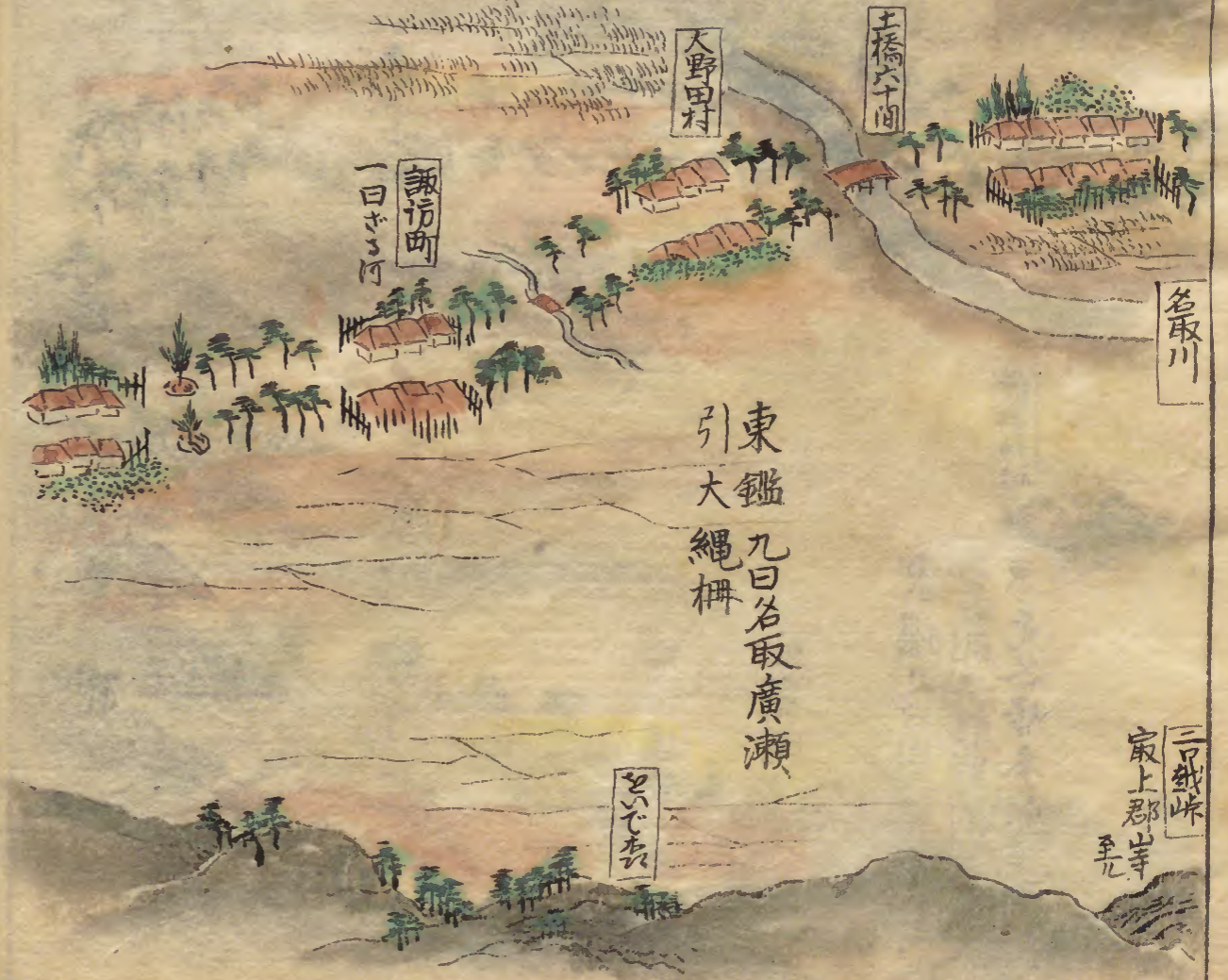
各圖
 長谷村
 東平王家
 四市村
 柴田郡界
 高嶺山

增田驛 七丁
 至中田駅 三丁
 地三丁十八間
 戸 百八十
 土産



中田駅 三余 至長町駅
 三十丁四間
 戸百廿余
 土産 菜豆
 日二日

長町駅 六丁
 三丁余
 至北目町駅
 三十丁余



七北 八丁
 至富谷 二里十九丁
 土産 戸百



刑罰場

念仙堂

青葉山は古城址あり国分氏
 の人殺代はるる年代不詳
 貞觀年中釈慈覺千體佛
 と安置せしより地名千體と云
 後千代は慶長五年十月伊
 達貞山城と建其時仙臺を改め
 り同八年八月造宮終り



望室候居城

東鑑九曰恭衡者
 陳国分原鞭指

七北 駒辺より六丁と
を十里と云ふ小道
と社あり小道然ら
し一堀と云

東鑑九曰文治五年八月
十四日自多賀國府經黒
河今越彼郡給



東雲寺

富谷新町 早下 至吉岡 駒
余一里一丁
戸百廿一
土産 源内茶





吉岡駅 至三本木駅
三里十丁

戸百六十

土産茶 花の波 酒 春風
千代の波 寒月 霜夜

市日五九

前野村

但木氏宅

行神社

神名帳曰

湯殿山道

新井

志戸村

七嶽

市目二六

土産 茶 土産

四百四十



市目二六
土産 茶 土産
四百四十





三木驛 共丁 至古川駅
三十七里廿七間
 戸百四十二
 土産 米上品
 市日二六



石巻湊より通船あり

古河驛 十三丁 至新家驛 一里十三丁

戸六百

土産米 上品 楠垣山林

菅笠 市日 三七



古川ヨリ三羊 岩手山一羊
宮一リ半カチノ沢一リ半
尻前一リ半中山三ノ羊
笹森五里尾花沢 十八里余

東鑑曰
文治五年八月廿日二品令赴
玉造郡給則回泰衡多如
波城給之處泰衡兼去
城逃亡

陸奥誌記曰康平五年八月廿日到
栗原郡營山園 菅田村磨 征蝦夷
之日於紫熱軍之自其以來号曰
營塹迹猶存武則真人先軍此處
後三年記曰栗原郡營園小名
諸陳以坤於使とゆめて軍を
その一ノ村ト署

志田
遠田
栗原
三郡界

童子川村

二ツ村

竹花村

小野村

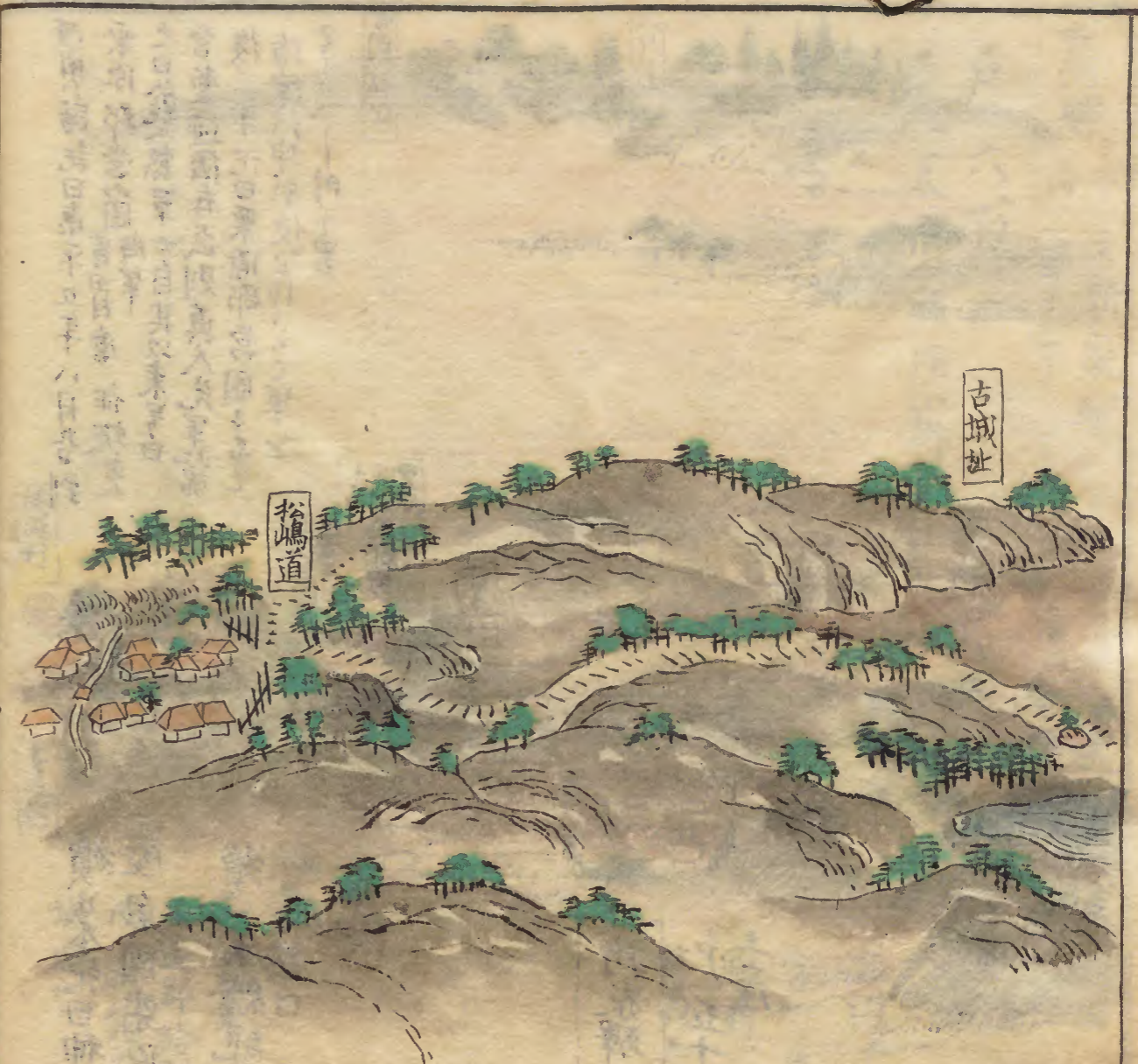


續日本紀曰神護景雲元年十二月置
陸奥國栗原郡
續日本統紀曰永和四年栗原加美
西郡

新家驛 一丁 至高清水驛 一里廿二丁四七間

戸五十
土産

古城址



松嶋道

高清水驛^{五丁}
戸八十三
土産
市日四元

至築館駅
全二里九丁世間

和名鉢日
清水御

地頭古母田氏宅



ヤカ坂

ヤノ村

高清水

米祥山福現寺門前古碑
あり天和三年馭東方城海あり
此の^一一^一一^一

銘曰

右奉為 先考龜雷眾
成佛得道

弘安三年歲次庚辰
季春上旬

平行轉 敬
白

東鑑十九卷建曆
元年平資轉と云
者小林新熊野社
祀神田田隆慶訃
るる^一一^一一^一
此碑ハ資幹の墓碑
小^一一^一其子行轉建
る



東鑑曰文治五年八月
 正日爰二品経松山道到
 津久毛橋給梶原平景
 高詠一首和哥之由申云
 隆奥の勢の御方津久
 毛橋渡あてかけん茶
 祝言之有御感云

石ヶ森山



宮野驛 至沃迎駅二里
 戸九十六
 土産
 市日六十

澤辺驛 四十余 至金成駅 十八丁

戸百二十 土産菅笠

東鑑曰文治九年八月廿一日泰衡即徒於栗原三迫等捕要害此あり金田幡多りとの迫とあり

炭焼後をこころ者天治年中北以砂金と獲る者業とて家富いなり三人の男と持てり橋治橋内橋六ありと仁安二年三月没れまて金出まらるも砂金産せり故あり貞享三年二月刻板より録記あり



金成驛 四十余 至有壁駅 二里六丁

戸百八十 土産 市日

畑村 炭焼後墓

駒ヶ嶽

神名帳曰 駒形根神社



有知村

寒沢道

天喜年間將軍
 頼義八幡太郎義家
 十萬の軍勢を揃へり
 故に十方坂と云ふ

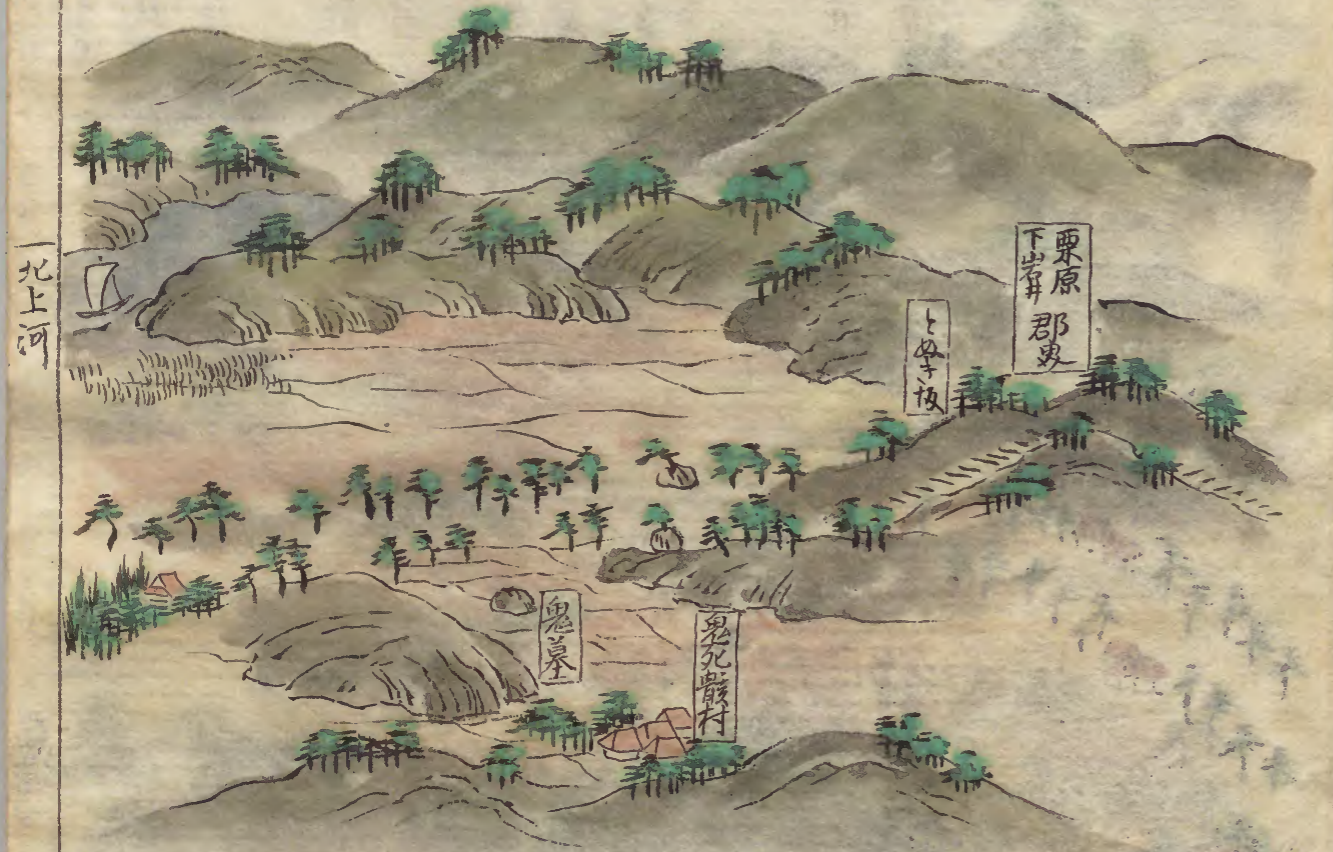
有壁驛 一丁四
 至一関駅 二里三丁

戸七十三
 土産



未野村

里俗云伝ふ古昔田村
 將軍此所を鬼を
 亡くす其死骸を埋
 故村を頭加美
 郡鬼切部村と埋て塚と
 を建りて



北上河

東鑑文治五年九月條下白金色堂正方並于無量
 光院之北構宿館銀鑪西戸有嫡子國衡家同
 留隆衛宅相並之三男忠衡家者在丁泉屋
 之東無量光院東門構一郭羅樂秀衡常
 居所也泰衡相繼之為居所焉
 中尊寺嘉祥二年秋慈覺開基其後
 二百余年と経て堀河鳥羽而帝清衡基
 衡造佛達寺と獻感りて天治三年三月
 十四日勅使按察使中納言顯隆御願文
 と捧くくつりて草右京大夫敷光朝臣
 書六冷泉中納言朝隆御あり今も存在
 二寺塔甲餘宇禪坊三百餘宇清衡建
 所あり金色堂光堂の二兵火と透れて右
 たり四壁金銀珠玉と鑄て文彩細密中央
 飾陀言三天地藏七宝莊嚴のまき板下
 十二光佛と金泥子画く定朝造其檀
 下二清衡基衡秀衡指と納七側
 泉三帝忠衡首桶り
 一毛越寺基衡建立
 堂塔甲餘宇禪坊
 其日餘宇あり
 切ありて酒去
 故子秀衡建
 元量光院秀
 衡宇治の平
 等院と短横
 一建と
 此三代の中九九年
 本亦唐寺と
 千僧供養



真鏡山西光寺廣照院 連々合屋

山中神社仏造と
 造営するの敷と
 ありん



衣河

庄原松

弁慶墓

衣園址

喜祥年間慈覺大師の開基堀河
 鳥羽帝國家鎮護の爲建立り鎮
 守府將軍藤原清衡基衡より造建
 の塔四十余宇禪坊五百余宇の中
 文治年中の兵火と焼失り金色
 堂一曰光堂宋本一切経金銀泥行交の
 一切経雲々作の佛投贈諸雜器少
 存との東鑑文治五年九月條下
 経藏も兵火と免れ今も在り紺紙
 金銀泥行交一切経清衡細む紺
 紙金泥一切経基衡納む宋板一切経
 秀衡納めぬ其外の仏像古器種々
 付れり
 天台大師影像慈覺入唐の時
 持渡白畫賛三朝國師光徹大夫
 守太子大師顏魯公乃書ありと
 當山才一の堂物なり
 鎮守白山社祭礼四月初午あり
 危徒猿乐田中と奏れ天台宗
 衆徒世六坊毒帯あり真言宗
 隆藏寺八清僧あり
 東鑑曰白鳥八帛行任等也

大梅拓葉山
圓通正法寺
貞和年
建立
基無成
良語和
尚
此若
産ス



堤尻村

中野村

物居村

大橋



中畑村

関村

大八所

新町

七日町

三日町

大町

地蔵三沢氏宅

前次驛 余

至水沢駅

戸二百
土産 麻

岩屋堂市
六

鎮守府八幡宮

岩屋堂道

通所

川原丁

石

東鑑曰九月廿一日成寅於伊沢郡鎮守府令奉幣
八幡宮第一殿瑞籬給云是田村唐將軍為東從下向
時所奉勸請崇敬之靈廟也彼卿所帶弓箭花籠

此田鶴の形と作り
田中子立鶴
と稱せり

水沢驛地頭伯騰氏より
東鑑曰騰氏左近將監家景
刀家より頼朝余りて奥州
に留る所とありて今も
至りて亦留る所とせり
後伊達氏とあり

駒ヶ岳

神名帳
神駒
社取



袋町

上盤井
下騰沢
郡界

大所

横所

柳町

立所
州垣伊達氏宅

水沢驛

正丁

至金崎驛
一里三十五丁

戸四百余
土産綱鶴の正法寺紫石硯
材
市日五十

須江村



五ノ山



御経岳



国見觀音山



伊賀郡界

相玄町

仙臺家苗所

1000

